

2. アンケート調査票

阪神・淡路大震災 復興モニター調査 2006

アンケート調査へのご協力をお願い

阪神・淡路大震災から11年余が経過しました。兵庫県では、震災の経験と教訓を踏まえ、高齢者の自立支援、まちのにぎわいづくり、「1月17日は忘れない」ための取り組みなどを進めています。

このたび、復興フォローアップの一環として、「高齢者の自立支援」の現状や団体・グループ、NPO等の活動状況、課題等を把握するため、高齢者の見守り等の現場でご活躍されている皆様のご意見をおうかがいする「復興モニター調査2006」の調査票をお送りしました。

ご意見を今後の施策に反映し、皆さんと一緒になって、震災復興の残された課題等に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくご協力をお願いします。

なお、ご回答いただいた内容を調査目的以外に利用することは決してありません。

平成18年8月

この調査についてのお問い合わせは…

兵庫県県土整備部 復興局
復興推進課 復興調整係

Tel:078-362-4335

Fax:078-362-4378

ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒にて、
9月13日(水)までにご投函くださいますようお願いいたします。

1. あなたの団体・グループ、NPOの活動状況について、おうかがいします。

問1 あなたの団体・グループ、NPOの活動内容についておうかがいします。

①あなたの団体・グループ、NPOについて、該当する番号に○をつけてください。

1. コミュニティサポートグループ
2. 高齢者福祉事業委託団体 [L S A・地域包括支援センター]
(社会福祉法人、医療法人、株式会社、社団法人、財団法人、協同組合、生活協同組合)
3. NPO

②あなたの団体・グループ、NPOの主な活動地域について、該当する番号に○をつけてください。

1. 神戸地域
2. 阪神地域
3. 東播磨地域
4. 淡路地域
5. 被災地域全域
6. 県内全域
7. その他 ()

問2 あなたの団体・グループ、NPOの構成員数について、該当する番号に○をつけてください。

1. 9名以下
2. 10～29名
3. 30～49名
4. 50～99名
5. 100名以上

問3 あなたの団体・グループ、NPOが活動を開始した時期について、該当する番号に○をつけて、年月を記入してください。

1. 震災前から活動している (平成・昭和 年 月～)
2. 震災後、活動を始めた (平成 年 月～)

2. あなたの団体・グループ、NPOが活動している地域の復興全般の現状について、おうかがいします。

問4 地域全体の復興についてどうお考えですか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
かなり速い	やや速い	どちらともいえない	やや遅い	かなり遅い

問5 復興はどの分野が進み、どの分野が進んでいないとお考えですか。空欄の該当する個所に○をつけてください。「復興が進んでいない」を選んだ場合は、その要因となっている番号(1~4)を具体的に記入してください。よくわからない場合は空欄のままでも結構です。

	復興が進んでいる	どちらともいえない	復興が進んでいない (要因)
福祉・住まい	1. 地域の見守り体制 (高齢者の見守り、健康づくりなど)		
	2. コミュニティづくり (コミュニティづくり、仲間づくりなど)		
	3. 住まいづくり (復興公営住宅入居者への支援など)		
	4. バリアフリーのまちづくり (エレベーターの設置、ノンステップ(低床)バスなど)		
生活・文化	5. 地域活動・ボランティア活動 (団体・NPO等のボランティア活動支援など)		
	6. 教育・体験活動 (地域に開かれた学校づくり、体験活動、防災教育など)		
	7. 文化 (芸術文化活動、文化の拠点づくりなど)		
	8. 街並み・景観 (街並み・景観、歴史的建造物、緑化など)		
	9. 多文化の共生 (国際交流、男女共同参画など)		
	10. 都市と農山漁村の交流 (交流の担い手づくり、拠点づくりなど)		
産業・雇用	11. 既存産業の活性化 (中小企業対策、商店街、集客・観光など)		
	12. 新産業の創造 (ベンチャー起業支援、ITなど)		
	13. 国際経済交流 (国際経済、外資系企業立地など)		
	14. 産業構造改革 (産業構造改革、特区構想の推進など)		
	15. 雇用 (就業機会の創出、職業能力開発など)		
防災	16. 安全・安心のまちづくり (自主防災組織の育成、住宅の耐震化など)		
	17. 行政の危機管理体制づくり (行政の災害対応力向上、地域防災計画など)		
	18. 災害救急医療 (災害救急医療の拠点整備、システムの充実など)		
	19. 防災基盤、施設 (防災拠点づくり、市街地の不燃化の促進など)		
	20. 震災の経験と教訓の継承・発信 (人と防災未来センター、1.17メモリアルウォークなど)		
まちづくり	21. 区画整理・市街地再開発 (復興土地区画整理・市街地再開発事業の推進など)		
	22. 環境 (グリーンエネルギー、廃棄物リサイクルなど)		
	23. 地域の特色を活かした新都市づくり (居住性の高い住宅、産業の集積、商業との一体化など)		
	24. 道路・鉄道・港湾等 (道路、鉄道、港湾、空港など)		
	25. ライフライン (電気、ガス、上下水道、電線共同溝など)		
	26. 河川・海岸・ダム等 (河川・海岸・ダム・砂防など)		

問6 あなたの団体・グループ、NPOがかかわっている分野の復興についてどうお考えですか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
かなり速い	やや速い	どちらともいえない	やや遅い	かなり遅い

3. あなたの団体・グループ、NPOの「高齢者自立支援」活動の現状・課題について、おうかがいします。

災害復興公営住宅等では、高齢世帯生活援助員(SCS)や生活援助員(LSA)、民生委員・児童委員、いきいき県住推進員、保健師、栄養士など各種の公的支援者による高齢者の見守り活動などが展開されています。しかしながら、災害復興公営住宅では、年々高齢化率が上昇する中、日常生活動作(ADL)の低下からケアを必要としたり、閉じこもりがちの高齢者等も多くなってきており、現状の見守り体制の適切な見直しや、超高齢社会を見据えた様々な主体の連携(情報交換・共同作業・役割分担等)による見守り体制のしくみづくりなどが必要になっています。

問7 現在、あなたの団体・グループ、NPOの活動はうまくいっていますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
うまくいっている	どちらかといえば うまくいっている	どちらともいえない	どちらかといえば うまくいっていない	うまくいっていない

問8 あなたの団体・グループ、NPOの活動の内容についておうかがいします。

①活動内容は現状で十分だと思いますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
現状で十分である	どちらかといえば 現状で十分である	どちらともいえない	どちらかといえば 現状では不十分である	現状では不十分である

②活動内容の不十分な点は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 見守りの訪問回数が少ない
2. 夜間や休日の対応が不十分
3. 高齢者等が訪問等を拒否する
4. アルコール依存者・精神障害者への対応が困難
5. 高齢者等の相談・要望に応えきれていない
6. 公的支援者や他の団体・グループ、NPOとの連携が不十分
7. 交流会等へ的高齢者等の参加が少ない
8. その他(具体的に:)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

③高齢者等が直面している課題は、どのようなことが多いと思いますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 病気・健康面の問題
2. 介護・介護保険の問題
3. 住居・生活環境の問題
4. 金銭面の問題
5. 人間関係の問題
6. その他(具体的に:)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

問9 あなたの団体・グループ、NPOと公的支援者等との連携についておうかがいします。

①公的支援者との連携について、該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
連携できている	どちらかといえば 連携できている	どちらともいえない	どちらかといえば 連携できていない	連携できていない

②連携できているのは、どのような公的支援者等ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. SCS
2. LSA
3. いきいき県住推進員
4. 保健師
5. 栄養士
6. 民生委員・児童委員
7. 地域包括支援センター
8. 自治会
9. NPO(高齢者支援等)
10. 大学・研究機関
11. その他(具体的に:)

③連携することが望ましいのは、どのような公的支援者等だとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. SCS
2. LSA
3. いきいき県住推進員
4. 保健師
5. 栄養士
6. 民生委員・児童委員
7. 地域包括支援センター
8. 自治会
9. NPO(高齢者支援等)
10. 大学・研究機関
11. その他(具体的に:)

④連携できていないのは、どのようなことが原因だとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 連携する必要がない
2. 連携するための機会や場がない
3. 連携する人材がない
4. 連携するために必要な経費がない
5. 連携するための時間が取れない
6. 連携する方法がわからない
7. 個人情報の共有など連携すること自体に制約がある
8. その他(具体的に:)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

4. 県等行政の支援施策について、おうかがいします。

問10 県等行政の支援施策について、早期に求められるものや中長期的に求められるものはどのようなことであるとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

区 分	早期に求められる (1~2年程度)	中長期的に 求められる (5年程度)
1. 支援者の増加による訪問回数の増加		
2. 高齢者等の多様な要望に対応するための体制の強化 (人材養成等)		
3. 夜間・休日の見守り体制の充実		
4. 高齢者の生きがいづくり・健康づくり施策の充実		
5. 災害復興公営住宅だけでなく一般の公営住宅での高齢者見守り体制の整備(LSA等の見守り支援体制の一般公営住宅への拡大)		
6. 地域住民を巻き込んだ見守り体制の整備 (公的支援者だけでなく、地域住民による見守り体制づくり)		
7. 見守り活動における支援者、自治会、NPO等の連携支援 (公的支援者、自治会、NPO等が連携した見守り活動の仕組みづくり)		
8. 公営住宅の空き室等を活用した見守り活動の充実 (公営住宅の空き室や空き教室、空き店舗等の在宅介護支援センター等への活用)		
9. 介護保険制度改革による地域ケアシステムの構築 (「地域包括支援センター」の積極的展開など)		
10. 高齢者に優しい生活環境づくり (公共交通や住宅のバリアフリー化の推進など)		
11. 高齢者に対する学びの場の提供 (地域高齢者大学、生涯学習に関する情報提供や相談など)		
12. 高齢者の社会参加の支援 (老人クラブへの支援、高齢者の生きがいしごとへの支援など)		
13. その他(具体的に:)		

○県や市町など行政の支援方策に対するご意見があれば、ご記入ください。

○皆さんの活動等でうまくいっている事例やユニークなもの、他の地域にも広げていくべきものなど、現在の活動の中で特にお気付きの点やご提案などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、同封の封筒に入れて、9月13日(水)までにお出し下さい。

阪神・淡路大震災 復興モニター調査 2006

アンケート調査へのご協力をお願い

阪神・淡路大震災から11年余が経過しました。兵庫県では、震災の経験と教訓を踏まえ、高齢者の自立支援、まちのにぎわいづくり、「1月17日は忘れない」ための取り組みなどを進めています。

このたび、復興フォローアップの一環として、「まちのにぎわいづくり」の現状や団体・グループ、NPO等の活動状況、課題等を把握するため、まちづくりの現場でご活躍されている皆様のご意見をおうかがいする「復興モニター調査2006」の調査票をお送りしました。

ご意見を今後の施策に反映し、皆さんと一緒になって、震災復興の残された課題等に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくご協力をお願いします。

なお、ご回答いただいた内容を調査目的以外に利用することは決してありません。

平成18年8月

この調査についてのお問い合わせは…

兵庫県県土整備部 復興局
復興推進課 復興調整係

Tel:078-362-4335

Fax:078-362-4378

ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒にて、
9月13日(水)までにご投函くださいますようお願いいたします。

1. あなたの団体・グループ、NPOの活動状況について、おうかがいします。

問1 あなたの団体・グループ、NPOの活動内容についておうかがいします。

①あなたの団体・グループ、NPOについて、該当する番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. まちづくり協議会 | 2. 商店街・小売市場組合等 |
| 3. TMO(中心市街地活性化まちづくり機関) | 4. NPO |

②あなたの団体・グループ、NPOの主な活動地域について、該当する番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. 神戸地域 | 2. 阪神地域 | 3. 東播磨地域 | 4. 淡路地域 |
| 5. 被災地域全域 | 6. 県内全域 | 7. その他() | |

問2 あなたの団体・グループ、NPOの構成員数について、該当する番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 9名以下 | 2. 10~29名 | 3. 30~49名 |
| 4. 50~99名 | 5. 100名以上 | |

問3 あなたの団体・グループ、NPOが活動を開始した時期について、該当する番号に○をつけて、年月を記入してください。

- | | | |
|----------------------|---|-----|
| 1. 震災前から活動している(平成・昭和 | 年 | 月~) |
| 2. 震災後、活動を始めた(平成 | 年 | 月~) |

2. あなたの団体・グループ、NPOが活動している地域の復興全般の現状について、おうかがいします。

問4 地域全体の復興についてどうお考えですか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
かなり速い	やや速い	どちらともいえない	やや遅い	かなり遅い

問5 復興はどの分野が進み、どの分野が進んでいないとお考えですか。空欄の該当する個所に○をつけてください。「復興が進んでいない」を選んだ場合は、その要因となっている番号(1~4)を具体的に記入してください。よくわからない場合は空欄のままでも結構です。

	復興が進んでいる	どちらともいえない	復興が進んでいない (要因) 1. 震災による要因 2. 不況等による要因 3. 社会構造的な要因 4. その他の要因
福祉・住まい	1. 地域の見守り体制 (高齢者の見守り、健康づくりなど)		
	2. コミュニティづくり (コミュニティづくり、仲間づくりなど)		
	3. 住まいづくり (復興公営住宅入居者への支援など)		
	4. バリアフリーのまちづくり (エレベーターの設置、ノンステップ(低床)バスなど)		
生活・文化	5. 地域活動・ボランティア活動 (団体・NPO等のボランティア活動支援など)		
	6. 教育・体験活動 (地域に開かれた学校づくり、体験活動、防災教育など)		
	7. 文化 (芸術文化活動、文化の拠点づくりなど)		
	8. 街並み・景観 (街並み・景観、歴史的建造物、緑化など)		
	9. 多文化の共生 (国際交流、男女共同参画など)		
	10. 都市と農山漁村の交流 (交流の担い手づくり、拠点づくりなど)		
産業・雇用	11. 既存産業の活性化 (中小企業対策、商店街、集客・観光など)		
	12. 新産業の創造 (ベンチャー起業支援、ITなど)		
	13. 国際経済交流 (国際経済、外資系企業立地など)		
	14. 産業構造改革 (産業構造改革、特区構想の推進など)		
	15. 雇用 (就業機会の創出、職業能力開発など)		
防災	16. 安全・安心のまちづくり (自主防災組織の育成、住宅の耐震化など)		
	17. 行政の危機管理体制づくり (行政の災害対応力向上、地域防災計画など)		
	18. 災害救急医療 (災害救急医療の拠点整備、システムの充実など)		
	19. 防災基盤、施設 (防災拠点づくり、市街地の不燃化の促進など)		
	20. 震災の経験と教訓の継承・発信 (人と防災未来センター、1.17メモリアルウォークなど)		
まちづくり	21. 区画整理・市街地再開発 (復興土地区画整理・市街地再開発事業の推進など)		
	22. 環境 (グリーンエネルギー、廃棄物リサイクルなど)		
	23. 地域の特色を活かした新都市づくり (居住性の高い住宅、産業の集積、商業との一体化など)		
	24. 道路・鉄道・港湾等 (道路、鉄道、港湾、空港など)		
	25. ライフライン (電気、ガス、上下水道、電線共同溝など)		
	26. 河川・海岸・ダム等 (河川・海岸・ダム・砂防など)		

問6 あなたの団体・グループ、NPOがかかわっている分野の復興についてどうお考えですか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
かなり速い	やや速い	どちらともいえない	やや遅い	かなり遅い

3. あなたの団体・グループ、NPOの「まちのにぎわいづくり」活動の現状・課題について、おうかがいします。

被災地では、各地で再開発事業や区画整理事業が完成し、震災で壊れたまちの再生は順調に進んできましたが、一方、震災による被害やその後の景気低迷、地域の構造的な課題等により、まちのにぎわいが回復していない地域もあり、まちづくり協議会や商店街、TMO、NPOなどの多様な主体の連携（情報交換・共同作業・役割分担等）によるまちのにぎわいづくりが課題となっています。

問7 現在、あなたの団体・グループ、NPOの活動はうまくいっていますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
うまくいっている	どちらかといえば うまくいっている	どちらともいえない	どちらかといえば うまくいっていない	うまくいっていない

問8 あなたの団体・グループ、NPOの活動内容についておうかがいします。

①活動内容は現状で十分だと思いますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
現状で十分である	どちらかといえば 現状で十分である	どちらともいえない	どちらかといえば 現状では不十分である	現状では不十分である

②活動内容の不十分な点は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 活動への住民の参画が少ない
2. 活動への若い世代の参画が少ない
3. 活動資金がないため十分な活動ができない
4. 専門家や他の団体・グループ、NPOとの連携が不十分
5. 行政などの制度や情報を的確に把握できない
6. その他(具体的に: _____)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

③まちのにぎわいづくりの面で地域が直面している課題はどのようなことだと思いますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 既成市街地の空洞化(人口減少・空き店舗増加等)
2. 住民や消費者のニーズの変化
3. 道路等のインフラ(都市基盤)の未整備
4. 地域の産業活動の減退(工場や会社の移転、撤退等)
5. 地域独自の魅力や観光資源の不足
6. 地域住民や団体等の取り組み意欲の不足
7. 行政による支援制度の不備
8. その他(具体的に: _____)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

問9 あなたの団体・グループ、NPOと専門家等との連携についておうかがいします。

①専門家等との連携について、該当する番号に1つ○をつけてください。

1	2	3	4	5
連携できている	どちらかといえば 連携できている	どちらともいえない	どちらかといえば 連携できていない	連携できていない

②連携できているのはどのような専門家等ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 建築士
2. コンサルタント
3. 弁護士
4. 大学・研究機関
5. NPO(まちづくり支援等)
6. 行政機関
7. その他(具体的に: _____)

③連携することが望ましいのは、どのような専門家等だとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 建築士
2. コンサルタント
3. 弁護士
4. 大学・研究機関
5. NPO(まちづくり支援等)
6. 行政機関
7. その他(具体的に: _____)

④連携できていないのは、どのようなことが原因だとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 連携する必要がない
2. 連携をするための機会や場がない
3. 連携する人材がない
4. 連携するために必要な経費がない
5. 連携するための時間が取れない
6. 連携する方法がわからない
7. 個人情報共有など連携すること自体に制約がある
8. その他(具体的に: _____)

(補足することがあれば、具体的にご記入ください)

4. 県等行政の支援施策について、おうかがいします。

問10 県等行政の支援施策について、早期に求められるものや中長期的に求められるものはどのようなことであるとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

区 分	早期に求められる (1~2年程度)	中長期的に 求められる (5年程度)
1. まちづくり協議会等の活動基盤強化のための助成等の充実		
2. 空き地や空き店舗を活用したにぎわいづくりや緑化活動の推進		
3. 震災による人口構成や土地利用の変化等に対応したまちづくりの支援		
4. まちづくり活動における地域団体(まちづくり協議会、商店街組合、NPO等)と行政、地域団体間の連携への支援		
5. まちのにぎわいづくりへの大学生など若い世代の参画促進		
6. 子どもたちの活気をまちのにぎわいにつなげる支援		
7. 地域の文化資源や芸術に関する活動をまちのにぎわいづくりに活かす仕組みづくり		
8. まちづくり協議会や商店街組合、NPO等の地域団体が互いに情報を交換し、交流できる「場」づくり		
9. 被災地の特色や地場産業などを活かした「観光・ツーリズム」の推進		
10. 大規模集客施設の郊外への出店抑制や既成市街地への出店の誘導など、中心市街地の活性化の推進		
11. 復興市街地整備事業の早期完成、復興市街地における住宅再建や商業機能再生への支援		
12. その他(具体的に:)		

○県や市町など行政の支援方策に対するご意見があれば、ご記入ください。

○皆さんの活動等でうまくいっている事例やユニークなもの、他の地域にも広げていくべきものなど、現在の活動の中で特にお気付きの点やご提案などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、同封の封筒に入れて、9月13日(水)までにお出し下さい。